

死亡事故の発生状況

「死亡(死者)」とは、交通事故によって発生から24時間以内に亡くなった場合(人)をいう。ただし、「30日死者の事故」の項では、「死者」を「24時間死者」という。

113件 死亡事故の特徴
113人 過去2番目に少ない
 平成23年中の死者数は、昭和23年以来2番目に少ない。(最低は、昭和24年の112人)



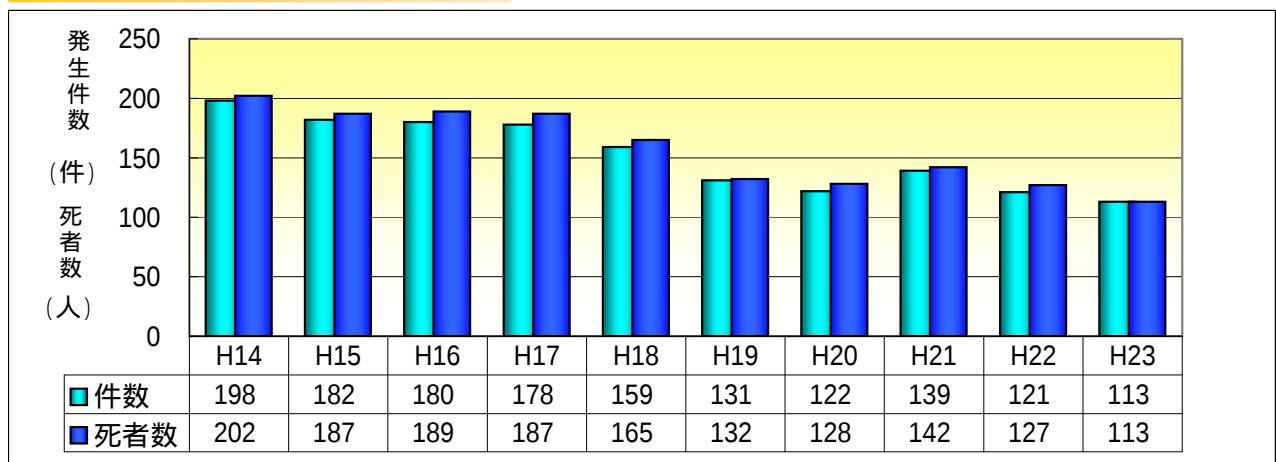
高齢者50%超

年代別死者数では、高齢者が58人で最も多く全体に占める割合51.3%となり、昭和41年以降で初めて50%を越えた。

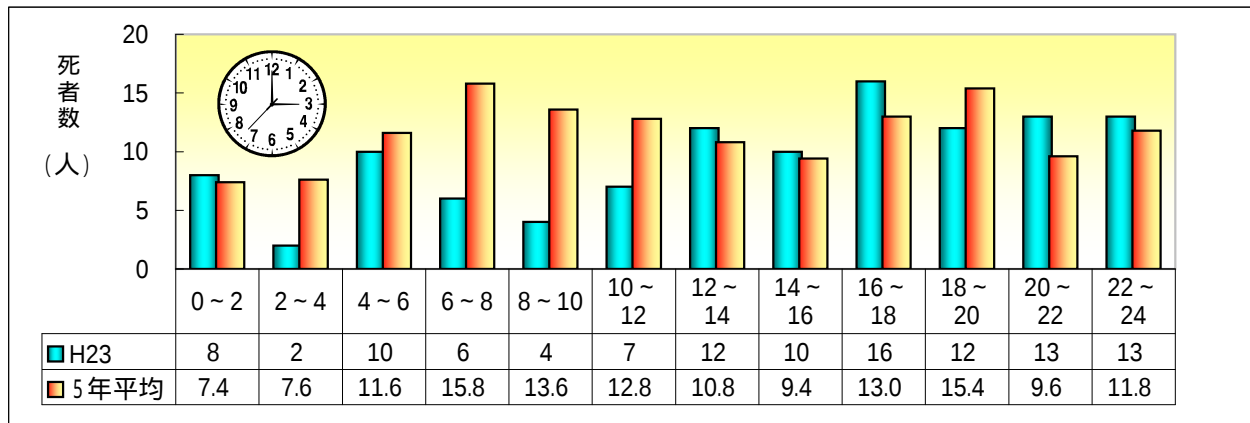
車両単独、歩行者横断中

事故類型別では、『車両単独』32人が最も多く、次に『歩行者×車 横断中』21人が多い。

● 最近過去10年間の発生状況



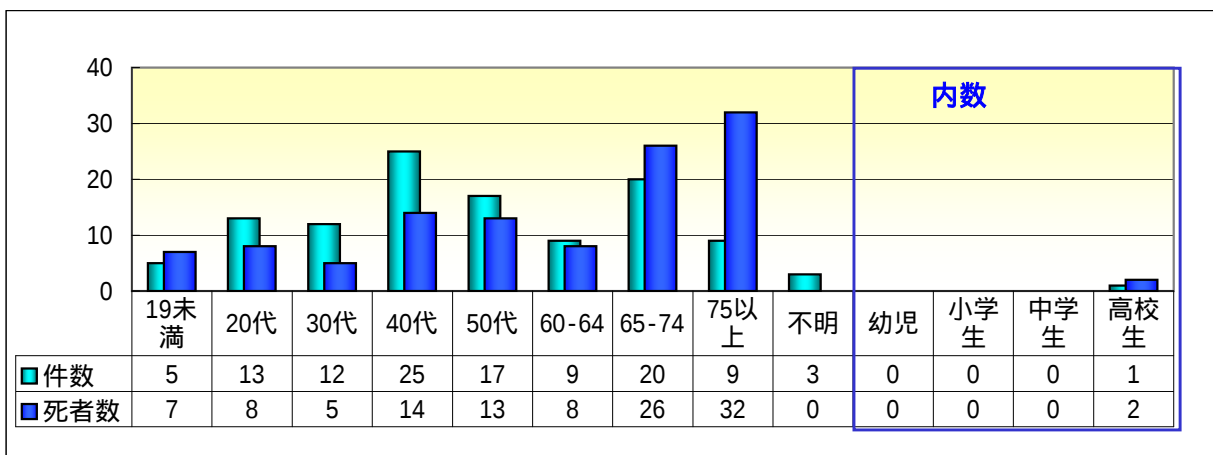
● 時間帯別死者数



● 道路形状・事故類型別死者数

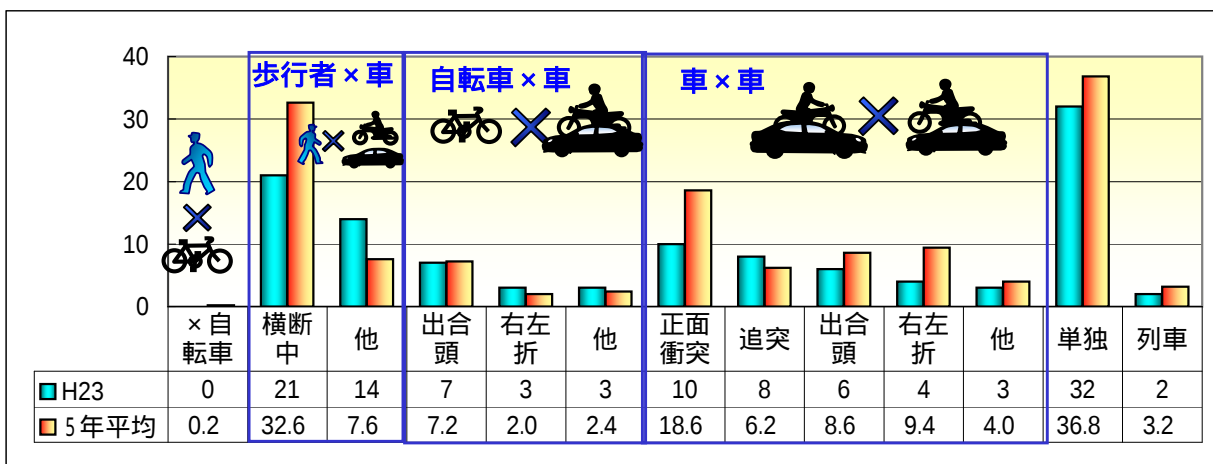
道路形状 事故類型	交差点			単路	踏切
	信号 有	信号 無	計		
H23年	15	26	41	70	2
歩行者×車	3	12	15	20	0
自転車×車	4	4	8	5	0
車×車	7	3	10	21	0
車単独	1	7	8	24	0
列車	-	-	-	-	2

● 年齢層別発生状況

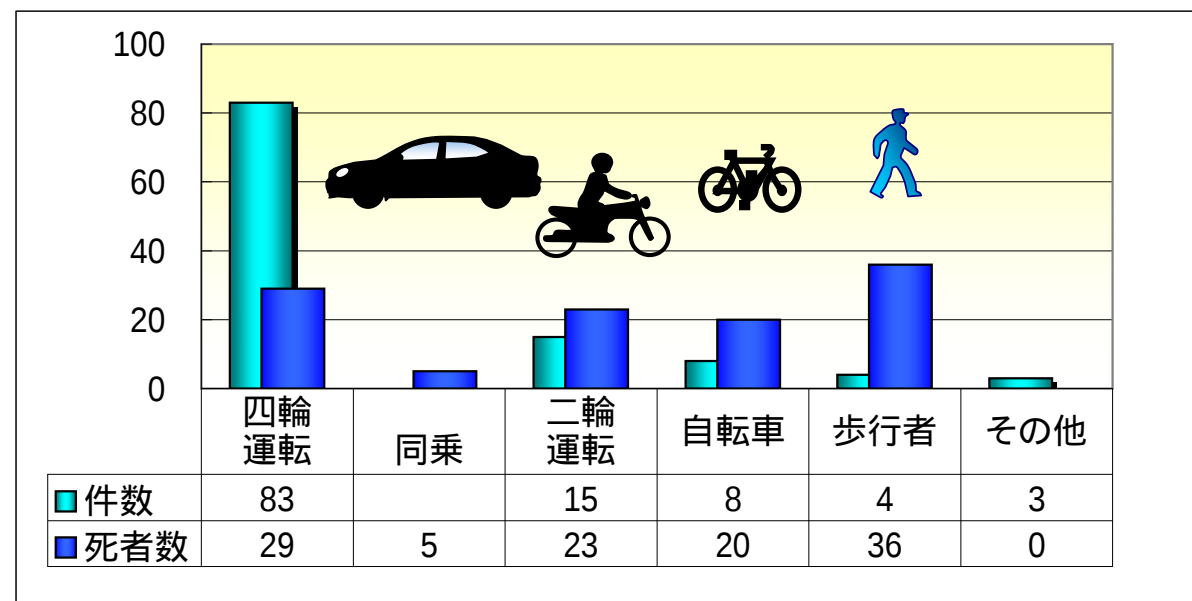


件数は、事故の第1当事者の年齢層で、死者数は死亡した本人の年齢層である。

● 事故類型死者数



● 当事者別発生状況



件数は、事故の第1当事者の年齢層で、死者数は死亡した本人の年齢層である。